

学校教育目標		総合評価		
「花とみどり笑顔の学校」～あふれるあいさつ かよいあう心～ 10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造 「今の努力が未来に続く、今を精一杯」				
今年度の重点目標		成果と課題	評価	改善策・向上策
よくふれあい…「友だちをいっぱいつくろう」				
・教師は、子どもが他者とつながることをサポートしたり、子どもと関わり合ったりすることができたか。 よく学び …「思いや考えを伝えよう」				
・教師は、子どもが目を輝かせ、思考力・表現力を高めていく授業を行うことかできたか。 よく遊ぶ …「たくさん遊ぼう」				
・教師は、ハッピータイム等で子どもたちと一緒に遊び楽しむことができたか。				

領域	重点	評価項目	評価の観点			
学校教育	よくふれあい	「多様な他者とかかわり合う場」の確保	地域の様々な大人と関わり合う場を確保し、地域のもてる力を有効活用しようとしている。			
		「地域の多様な人々と子ども、子どもたち同士が関わり合う時間」の確保	地域の様々な人々や友だちと関わり合う活動を大切に活動を展開している。			
	よく学ぶ	「算数・外国語・UD・MIM」を中心にした授業改善	全職員が専門派遣講師による授業公開や教材研究を通して、授業改善を図ろうとしている。学習活動を通して、児童の「喜びをもって心身を躍動させるエネルギー」や「自ら学ぼうとする意欲の強さ」を向上させようとしている。			
		「北小学びのスタンダード」(全学年共通で身につける学び方の基本)の推進	教師の指導がなされ、以下のことができている。 1 話す人は一人。 2 呼ばれたら「はい」と返事をする。 3 相手に顔と体を向ける。 4 相手に聞こえる声で終わりまで話す。 5 相手が話し終えるまで聞く。			
		総合的な学習の時間・生活科の学習の充実	教師は、子どもが探求的に学ぶ活動を構想し、課題解決力を育てようとして指導している。			
学校運営	よく遊ぶ	「ハッピータイム」(外遊びの日)等の充実	教師は、子どもと共に遊ぶ等、子どもが外遊びに進んで取り組むような働きかけをしている。			
		自主的活動の時間の確保	休み時間が、遊びや、児童の自主的な活動のための時間となるよう指導している。			
	保護者・地域との連携	情報の発信	学校(学年、学級)は、教育方針、取組やその成果、連絡など、必要な情報を発信している。			
PTAやボランティアとの連携		学校は、PTAやボランティアとの連携を十分行っている。				
家庭学習の充実		学校は「紡ぐ」を活用し、家庭学習の習慣化や学習内容の定着・意欲の向上を図る働きかけをしている。				